

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「岐阜未来遺産」認定プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,000 千円 (前年度予算額： 8,954 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,954	8,954	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,000	0	0	0	0	0	0	0	13,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムの推進が不可欠である。

そのため、持続可能な観光の国際指標を導入した認定基準により、本県のサステイナブル・ツーリズムを牽引する観光プログラムを「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」として認定し、国内外にその魅力を発信することで、誘客促進及び観光消費額の拡大を図る。

(2) 事業内容

- ①PRツール制作 (10,000千円)
- ②認定セレモニーの開催 (1,710千円)
- ③「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」認定委員会開催 (1,290千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	284	認定委員謝金
旅費	485	認定委員費用弁償、職員旅費
委託料	12,231	PRツール制作 等
合計	13,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
- ④観光産業の基幹産業化

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自の事業である

(3) 後年度の財政負担

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、今後も継続する

(4) 事業主体及びその妥当性

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

持続可能な観光の国際指標を導入した認定基準により、本県のサステイナブル・ツーリズムを牽引する観光プログラムを「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」として認定し、その魅力を国内外に発信することで、誘客促進及び観光消費額拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額		1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)		3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>新たな「岐阜の宝もの」選定に向け認定委員会を開催し、候補資源の現地調査を実施するとともに、新たな認定基準について協議した。</p> <p>SDGsの理念に即した新たな認定基準を設定し、それに基づく新たな「岐阜の宝もの」の選定や、ブラッシュアップの取組を支援することで、本県を代表する観光資源の底上げにつながっている。</p>
令和 3 年度	<p>「岐阜の宝もの」認定委員会を開催し、持続可能な観光の国際指標を導入した新たな認定基準や制度設計を行うとともに、これまで認定した「岐阜の宝もの」や新規申請資源の現地調査を実施した。</p> <p>指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6 %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムの観点による地域の取組を支援することが不可欠。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>認定委員会(有識者)による現地調査や、新たな認定基準についての協議など、本県のサステイナブル・ツーリズム推進に向け着実に事業を進められている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>随時、認定委員と協議しながら、事業を進めるとともに、委員の意見を地域へフィードバックし、地域課題の解消に役立てている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光価値域づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、本県のサステイナブル・ツーリズムの核として事業を展開する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】